

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月05日

計画の名称	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現 その (防災・安全)											
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	行田市											
計画の目標	下水道施設の計画的な維持管理、改築・更新を行い、持続的な下水道機能を確認し、安心・安全で快適なまちづくりを実現する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,349	A	1,349	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく対策の実施率を16%(H30当初)から100%(H30末)に増加させる。 緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく事業の実施率 長寿命化対策実施済の資産数(資産)/長寿命化対策をすべき資産の数(55資産)	16%	100%	100%
2	下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率を45%(H30当初)から100%(H30末)に増加させる。 下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント作業済項目数(項目)/ストックマネジメント作業項目数(11項目)	45%	100%	100%
3	下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント支援事業実施率を0%(H31当初)から16%(H34末)に増加させる。 下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント支援事業実施率 ストックマネジメント支援事業実施済のユニット数(ユニット)/ストックマネジメント支援事業をすべきユニットの数(81ユニット)	0%	6%	16%
4	下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント支援事業実施率を44%(H31当初)から45%(H34末)に増加させる。 下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント支援事業実施率 ストックマネジメント支援事業マンホール蓋の安全機能・性能を確保済の個数(基)/ストックマネジメント支援事業マンホール蓋の個数(7146基)	44%	45%	45%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

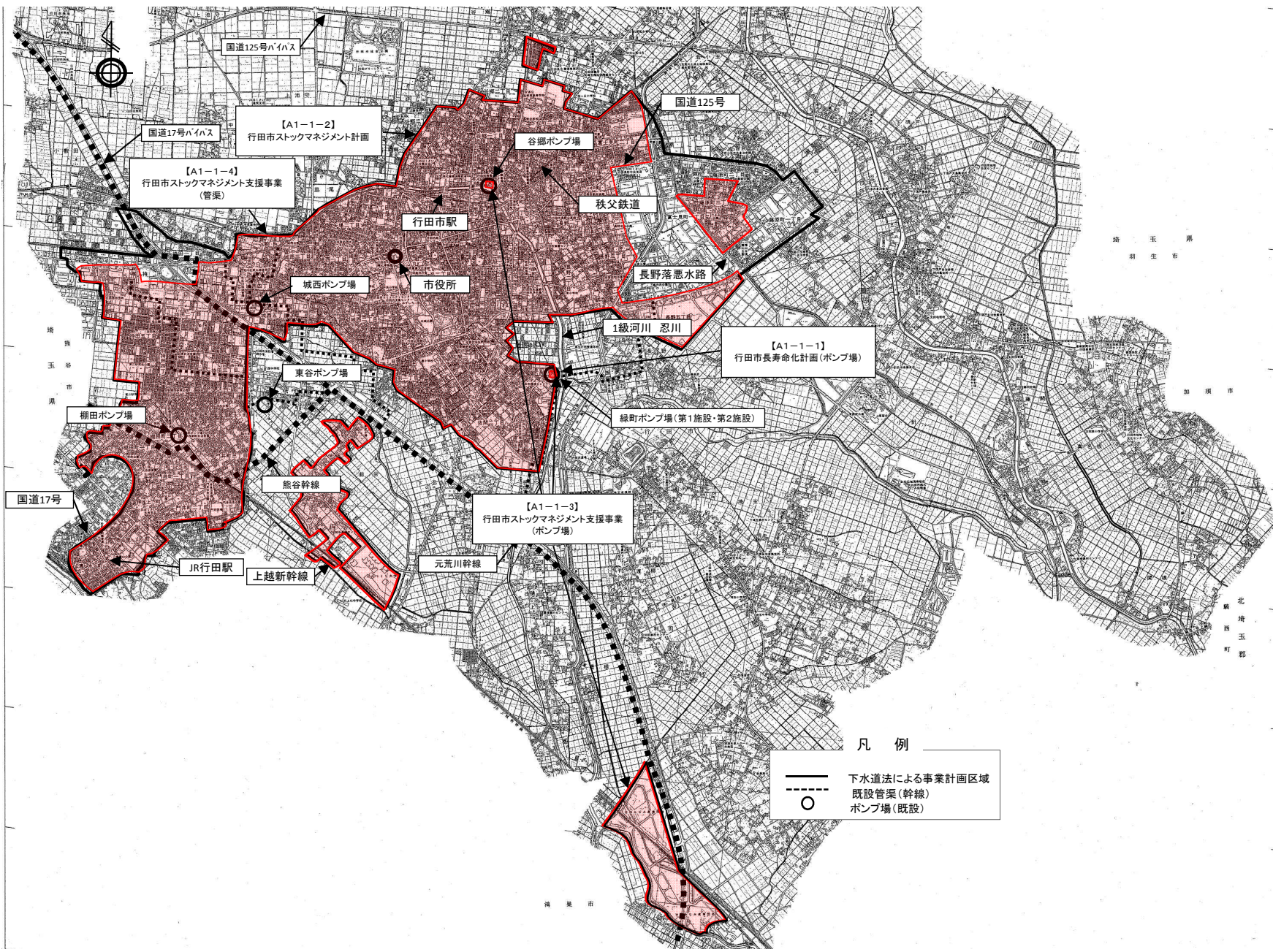
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	行田市長寿命化計画（緑町ポンプ場）	緑町ポンプ場の改築	行田市						288		策定済	
	長寿命化計画																			
	A07-002	下水道	一般	行田市	直接	行田市	-	改築	行田市ストックマネジメント計画	ストックマネジメント計画策定	行田市						36		策定中	
	ストックマネジメント計画																			
	A07-003	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	行田市ストックマネジメント支援事業（ポンプ場）	ストックマネジメント点検調査及び改築事業の実施	行田市						869		未策定	
	ストックマネジメント計画																			
	A07-004	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠（汚水）	改築	行田市ストックマネジメント支援事業（管渠）	ストックマネジメント点検調査及び改築事業の実施	行田市						156		未策定	
	ストックマネジメント計画																			
												小計						1,349		
												合計						1,349		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	162	36	27	11	51
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	162	36	27	11	51
前年度からの繰越額 (d)	10	0	0	20	0
支払済額 (e)	172	36	7	31	51
翌年度繰越額 (f)	0	0	20	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	18	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	66.6%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由			国の第三次補正予算により、令和3年度事業を前倒して執行したため		



国道125号バイパス

【A1-1-2】
行田市ストックマネジメント計画

国道17号バイパス

【A1-1-4】
行田市ストックマネジメント支援事業
(管渠)

谷郷ポンプ場

国道125号

秩父鉄道

行田市駅

長野落懸水路

市役所

城西ポンプ場

1級河川 忍川

【A1-1-1】
行田市長寿命化計画(ポンプ場)

東谷ポンプ場

緑町ポンプ場(第1施設・第2施設)

棚田ポンプ場

熊谷幹線

【A1-1-3】
行田市ストックマネジメント支援事業
(ポンプ場)

国道17号

JR行田駅

上越新幹線

元荒川幹線

凡 例

- 下水道法による事業計画区域
- - - - 既設管渠(幹線)
- ポンプ場(既設)

埼玉県
羽生市

加須市

北埼玉町

鴻巣市

社会資本整備総合交付金チェックシート

事業主体名:行田市

計画の名称:生活基盤が充実した便利で快適なまちづくりの実現 そのⅡ(防災・安全)

I. 目標の妥当性	チェック欄
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
②関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業の額が適正である。	○
②関連する機関との調整が図られている。	○
③計画の具体性など事業の熟度が高い。	○